

【別紙様式3】

再 評 価 実 施 事 業 調 書

番 号	6	事業名	四街道市公共下水道事業		路線又は箇所名等		印旛処理区		
事業所管課		下水道課			事業主体		四街道市		
事業化年度	昭和47年度	用地着手年度	-		工事着手年度	昭和47年度	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
					工事終了年度	平成53年度			
費用便益比 B / C	1.4	総費用	1,536億円	総便益	2,118億円	基準年	平成20年度	供用開始 年 度	昭和50年 度

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(完成予定年次:H22)	現況(H20)
処理区域面積	1,988ha	1,309ha	1,088ha
処理人口	92,400人	88,970人	78,120人
終末処理場の処理能力	-	-	-
事業費	558億円	303億円	250億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度までの整備面積は、事業計画1,309haに対して、1,088haを整備し、整備率は83%である。
処理場用地の取得状況	-
処理施設の供用状況	-
供用開始区域の接続状況	接続率は94%である。
地元情勢等	四街道市議会の理解及び地元住民の協力は得られている。

【社会経済情勢等】

指 標	状 況
社会経済情勢	下水道事業に影響のある社会経済情勢の変化は特はない。
自然環境条件	東京湾の水質汚濁に係わる水質環境基準に変更はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

【コスト縮減・代替案】

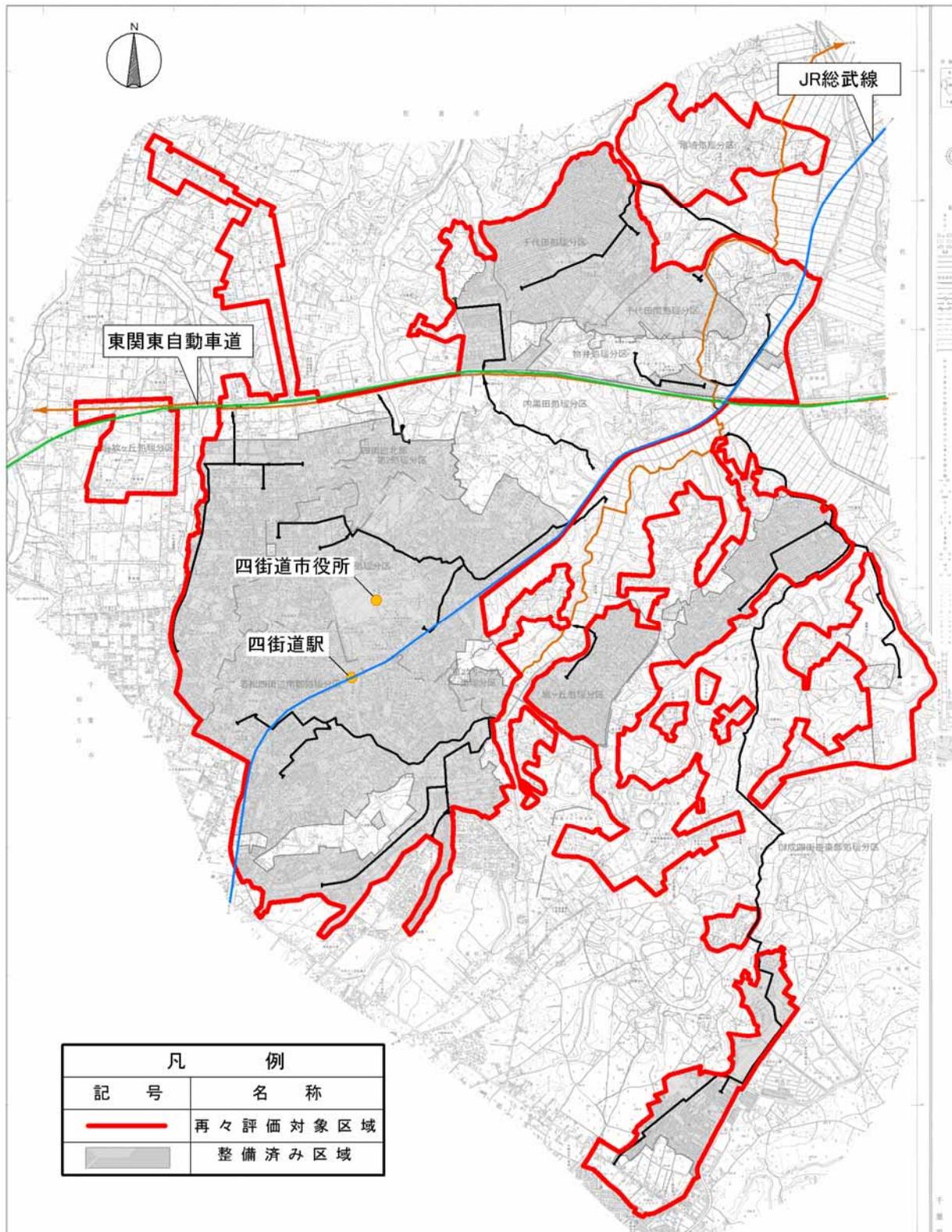
指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

【対応方針(案)】

四街道市公共下水道事業は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続する。

事業概要図

番号	6	事業名	四街道市公共下水道事業	路線名又は箇所名	印旛処理区
----	---	-----	-------------	----------	-------



凡 例	
記 号	名 称
	再々評価対象区域
	整備済み区域

【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	6	事業名	四街道市公共下水道事業	路線又は箇所名等	印旛処理区	
事業化年度	昭和47年度	用地着手年度	-	工事着手年度	昭和47年度	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年度	供用開始 年度	昭和50年度	対応方針	継続	
B / C		総費用		総便益		
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		553億円	192億円			
用地取得面積		-	-			
供用面積(延長)		1,988ha	900ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年度	供用開始 年度	昭和50年度	対応方針	継続	
B / C	1.4	総費用	1,536億円	総便益	2,118億円	
現在の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		558億円	250億円			
用地取得面積		-	-			
供用面積(延長)		1,988ha	1,088ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	再評価時から現在に至るまで、概ね順調に事業が進展している。					

【別紙様式3】

再 評 価 実 施 事 業 調 書

番 号	6	事業名	四街道市公共下水道事業		路線又は箇所名等		千代田排水区他		
事業所管課		下水道課			事業主体		四街道市		
事業化年度	昭和47年度	用地着手年度	-		工事着手年度	昭和47年度	再評価の理由	再評価実施後一定期間を経過したため	
					工事終了年度	平成36年度			
費用便益比 B/C	1.4～1.8	総費用	380億円	総便益	567億円	基準年	平成20年度	供用開始 年度	昭和50年 度

【事業概要】

項目	全体計画(目標年次:H29)	事業計画(完成予定年次:H22)	現況(H20)
排水区域面積	879ha	619ha	352ha
処理人口	-	-	-
終末処理場の処理能力	-	-	-
事業費	343億円	120億円	67億円

【事業の進捗状況】

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度までの整備面積は、事業計画619haに対して352haを整備し、整備率は57%である。
処理場用地の取得状況	
処理施設の供用状況	
供用開始区域の接続状況	
地元情勢等	四街道市議会の理解及び地元住民の協力は得られている。

【社会経済情勢等】

指 標	状 況
社会経済情勢	下水道事業に影響のある社会経済情勢の変化は特にない。
自然環境条件	
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

【コスト縮減・代替案】

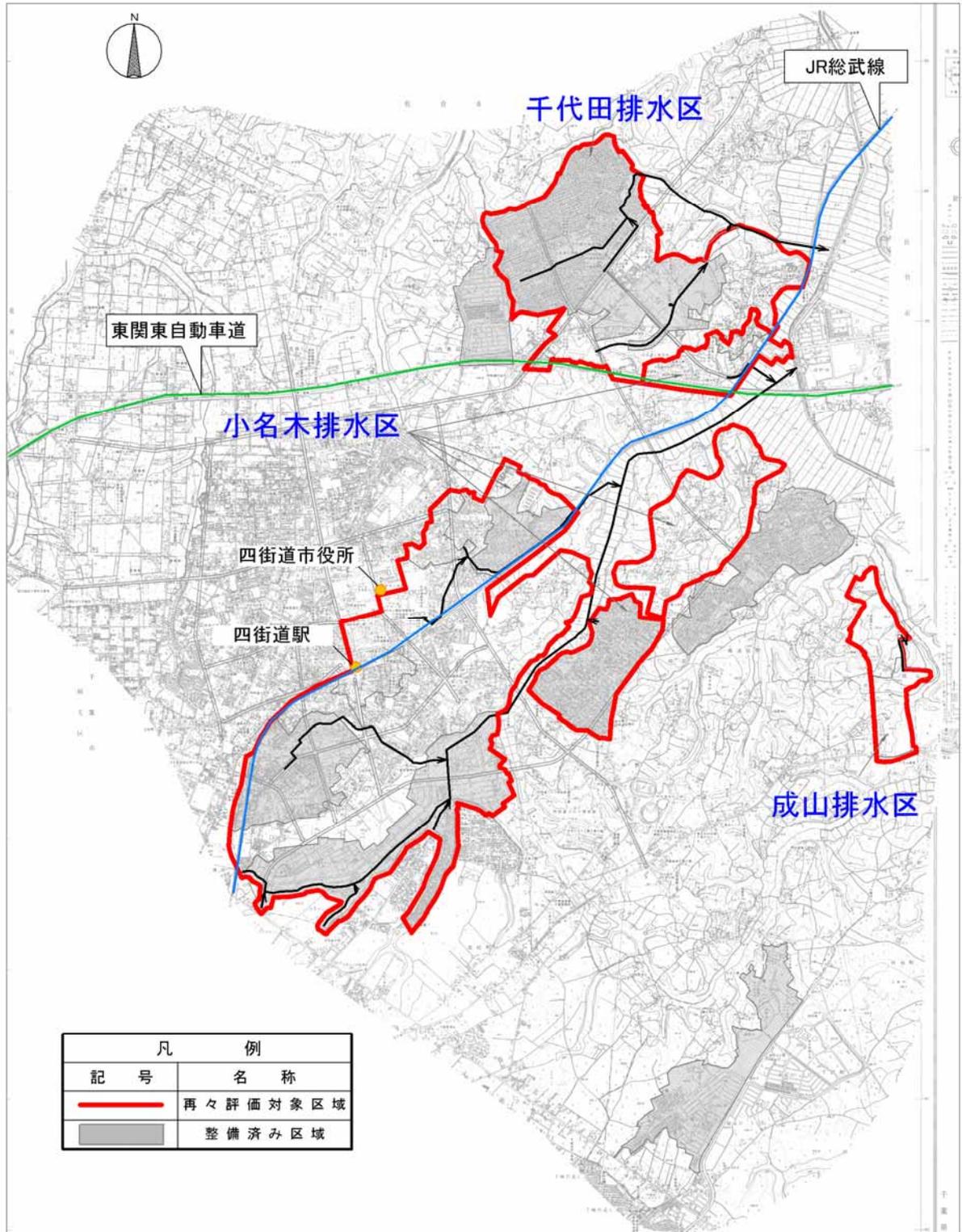
指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	

【対応方針(案)】

四街道市公共下水道事業は、今後も整備が必要とされることから、当事業を継続していく方針です。

事業概要図

番号	6	事業名	四街道市公共下水道事業	路線名又は箇所名	千代田排水区他
----	---	-----	-------------	----------	---------



【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	6	事業名	四街道市公共下水道事業	路線又は箇所名等	千代田排水区他	
事業化年度	昭和47年度	用地着手年度	-	工事着手年度	昭和47年度	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成10年度	供用開始 年度	昭和50年度	対応方針	継続	
B / C		総費用		総便益		
再評価時の委員会の意見及び当時の状況 事業の継続が妥当とのご意見をいただいた。						
再評価時の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		264億円	24億円			
用地取得面積		-	-			
供用面積(延長)		840ha	332ha			
【再々評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成20年度	供用開始 年度	昭和50年度	対応方針	継続	
B / C	1.4 ~ 1.8	総費用	380億円	総便益	567億円	
現在の進捗状況						
		計 画	進捗状況			
全体事業費		343億円	67億円			
用地取得面積		-	-			
供用面積(延長)		879ha	352ha			
再評価後の 経過及び 処理状況	再評価時から現在に至るまで、主に幹線整備を行い、事業は進展している。					